



2016 年度年賀寄附金配分事業の事例紹介

1. 活動・一般プログラム

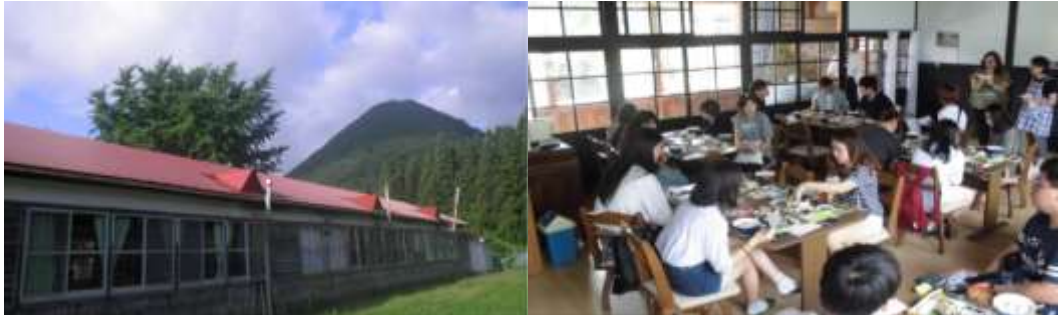
事例 1-1	特定非営利活動法人 フローレンス（東京都千代田区）
事業名	医療的ケアが必要な障害児の発達と親御さんの就労を支える居宅訪問保育事業
事業種別	社会福祉の増進を目的とした事業
配分額	500 万円
<p>【事業内容】</p> <p>保育園に入ることができない重症心身障害者や医療的ケアを必要とする未就学の障害児に、「子ども・子育て支援制度」に基づく地域型保育給付内の居宅訪問保育を行い、子どもたちの発達と親御さんの就労ができる環境を提供する事業。</p> <p><実施成果></p> <p>①サービス対象地域の拡大 →東京都内 2 区（新宿、豊島）から新規 5 区（港、練馬、品川、渋谷、北）追加さらに 7 区において自治体認可を取得。</p> <p>②利用者数の拡大 →3 家庭から新たに 17 家庭に増加。</p> <p>③保育士の養成 →既存 3 名から新たに 20 名の新規スタッフを採用・育成。</p> <p>④保護者の職場復帰 →利用者のうち 3 名が職場復帰。</p> <p><利用者のアンケートの声></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育スタッフの方が、非常に熱意を持って対応してくれるので、信頼できる。 ・フローレンスのみなさんが、障害児を持つ家族の環境をなんとかしたいと心から思ってくれているのが伝わる。 ・子どもの精神発達が非常に進んだ。たくさん話かけてもらい、いろんな遊びを一緒にしてもらえるおかげで、多様な反応がでてきた。 ・丁寧にマンツーマンで保育していただいているおかげでたくさんのことができるようになったと思っています。親が自宅で孤立して介護しているだけではあり得なかったような成長を感じます。 <p>【参考写真】</p> 	

事例 1-2	特定非営利活動法人 美ら海振興会（沖縄県那覇市）
事業名	チービシ・慶良間のサンゴ礁保全のためのサンゴ植え付け事業
事業種別	地球環境の保全を図るために行う事業
配分額	392 万円
<p>【事業内容】</p> <p>沖縄県慶良間諸島本島近隣のチービシ海域で、日本全国から集まった一般ダイバー（延べ 245 名）とともにサンゴの種苗の植え付けを行い、定期的にモニタリングとメンテナンスで生存率の確認と成長度合いの測定を実施。</p> <p>また、船舶の運航により排出される CO2 をカーボン・オフセットし、サンゴ礁の復活と自然保護活動に取り組むきっかけづくりを目指す事業。</p> <p><実施内容></p> <p>①サンゴの被度を回復させ、30 年前の綺麗な海のようにサンゴ礁をよみがえらせるために、サンゴが生息していた場所にサンゴ種苗を集中的に植え付ける。 →造礁サンゴ礁が豊富だといわれている慶良間流域チービシ環礁にて計 1,600 株の植え付けを実施。</p> <p>②サンゴの最適な植え付け方法を確立させるためのデータの収集。 →サンゴの生存率の確認：1 か月に 1 度実施。 サンゴの成長率の確認：3 か月に 1 度実施。 サンゴ捕食生物の駆除：1 か月に 2 度実施。 水中清掃活動の実施：1 か月に 2 度実施。 (毎回 20 名程度の参加者と、50kg にもなる大きな網や釣り糸、ブイなどを回収。また、同時に水中駆除活動も実施し、毎回数百～千個のレイシガイダマシとオニヒトデを駆除。)</p> <p>③サンゴの植え付け方法を教えられるダイビングインストラクターの数を前年度 40 名から 10 名増の 50 名に増員し、今後の事業の継続性及び拡大を図った。</p> <p>④サンゴ礁を復活させる意義と地球温暖化防止の重要性の啓蒙活動 →植え付け活動には多くの一般市民の方々に参加いただき、事業の重要性や意義を浸透。年 4 回で総計 245 名の参加者。</p>	
<p>【参考写真】</p> 	

2. 活動・チャレンジプログラム


事例2	特定非営利活動法人 すいた体験活動クラブ（大阪府吹田市）
事業名	児童たちが校庭で「二毛作」と「地産地消」を実体験する学習支援事業
事業種別	青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業
配分額	50万円
<p>【事業内容】</p> <p>都市化がすすむ吹田市内の小学校11校で、5年生の児童28クラスを対象に、校庭にミニ田んぼを作り、児童たちが年間を通して、稲作やタマネギの栽培を行い、「二毛作」や「地産地消」を実体験。また、水田に集まる虫や鳥の観察や調査を行うなど、学びに広がる体験学習を支援する事業。</p> <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施小学校：11校 参加児童：延べ7,261名 参加保護者：79名 ・収穫物 <ul style="list-style-type: none"> →11校合計で、タマネギ4,259個、お米（玄米）80.2kgを収穫。 収穫したタマネギやお米などの一部を給食の食材として使用し、実施小学校の全校生徒が「地産地消」を実感。 ・児童たちが田んぼなどで、28種類の鳥や虫を見つけ、実際に触れ、観察を行った。 <p><先生及び参加児童たちの声></p> <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼをつくるのはとても大変できつかったけど、楽しかったし、お米がたくさんできてうれしかった。 ・校庭で、こんなにおいしいお米やタマネギが育つなんて、びっくりした。 ・お米作りは本当にきつかった。農家の人たちの大変さがよくわかった。 ・自分たちで作ったおにぎりは日本一おいしかった。こんなにおいしいおにぎりは生まれてはじめて食べた。 ・環境教育は、子どもの時から一緒に実体験を通して納得させることがいかに重要かを理解できた。この体験学習は非常に有意義でした。 <p>【参考写真】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	


3. 施設改修

事例 3-1	特定非営利活動法人 白神自然学校一ツ森校（青森県西津軽郡）
事業名	白神自然学校一ツ森校施設の屋根の腐食・雨漏り・安全確保対策のための改修事業
事業種別	青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業
配分額	500 万円
<p>【事業内容】 世界遺産である白神山地で、廃校になった小学校を利用し、山や川・海の自然を創造的に活用した自然体験の活動や、簡易宿泊等を実施している施設の屋根の改修。 その結果、改修前、強風により屋根のトタンが飛ぶなどの危険性があったが、解消されて安全性の確保につながった。また、宿泊利用者の増加に伴い、年間収入が 1,100 万円から 1,700 万円に増加した。</p>	
<p>【参考写真】</p> 	

事例 3-2	特定非営利活動法人 どんぐりコロコロ（岡山県津山市）
事業名	障害福祉サービス事業所の薪小屋兼倉庫の収容力不足解消のための改修事業
事業種別	社会福祉の増進を目的とする事業
配分額	85 万円
<p>【事業内容】 生活介護利用者が取り組んでいる資源回収作業において、支払い工賃の向上を図るため、改修品の保管場所として不足していた倉庫の収容力を増加するため改修。 改修の結果、資源回収量の年間合計が、2015 年度 17,559kg から 2016 年度 19,507kg と約 2,000kg の増加。（内訳：内アルミ缶・ペットボトル・段ボール・新聞紙） さらに、支払い工賃についても、2015 年度年間 113,556 円から 2016 年度年間 136,984 円と約 23,400 円の増加を達成した。</p>	
<p>【参考写真】</p> 	

4. 機器購入

事例 4-1	特定非営利活動法人 ひまわりの家（広島県三原市）
事業名	野菜運搬にかかる負担軽減のための什器備品導入事業
事業種別	社会福祉の増進を目的とする事業
配分額	13 万円
<p>【事業内容】</p> <p>毎日の野菜箱（約 20kg）段ボールを運ぶ利用者の負担を軽減させるとともに、受注量の増加及び工賃アップを図るため低床プラコントローラーおよびコントローラーセンスを購入。</p> <p>導入後、利用者の負担が軽減し効率もアップ。事業収入は年間 1,893 千円から 2,645 千円に、1 人当たり工賃も 16,500 円から 25,000 円に増加。</p>	
<p>【参考写真】</p> 	



事例 4-2	特定非営利活動法人 ウッディ阿賀の会（新潟県新潟市）
事業名	間伐材・枝打ち材を活用した環境教育空間造成のための粉碎チップパーおよび運搬車の新規設置事業
事業種別	地球環境の保全を図るために行う事業
配分額	114 万円
<p>【事業内容】</p> <p>間伐材を山林から搬出するための動力運搬車と、木材をチップ化するための粉碎チップパーを購入し、森林の整備活動に活用。</p> <p>伐り捨てていた木材の搬出・撤去が可能となり、山林の美化に繋がるとともに、薪やバイオマスエネルギー材としての活用の道が開かれ、資源循環型の取組を推進。</p> <p>間伐材を年間約 5t、薪材として約 100 本を搬出。エネルギー循環を図り、里山機能再生の一助となった。</p>	
<p>【参考写真】</p> 	

5. 車両購入

事例 5-1	社会福祉法人 秋田ふくしハートネット（秋田県仙北市）
事業名	「特別豪雪地帯」に立地する通所障がい者施設の除雪車（ミニホイールローダー）新規購入事業。
事業種別	社会福祉の増進を目的とする事業
配分額	200 万円
<p>【事業内容】 施設利用者の安全性確保のため、これまで人手で行っていた排除雪作業を、安全かつスピーディーに行うため、機動性の高いミニホイールローダーを購入。 ホイールローダー購入前は、委託により排除雪を行っていたが、職員が作業することで委託費が年間 630 千円から 67 千円となり、経費削減も図ることができた。</p>	
<p>【参考写真】</p> 	

事例 5-2	特定非営利活動法人 農楽郷ここ・カラダ（※旧名：農楽郷 hibiki）（青森県十和田市）
事業名	就労継続支援 B 型事業所「カシスのしずく」の生產品運搬用車両導入事業
事業種別	社会福祉の増進を目的とする事業
配分額	160 万円
<p>【事業内容】 施設利用者の工賃アップを図るため、収穫したカシス等の鮮度を保ったまま運搬できる冷蔵冷凍車を配備。 配備により、安定した運搬加工体制を構築できたことで、利用者の平均月額工賃が 20,500 円から 22,390 円に増加。また、今後の増産を図るため、植付け面積を 42a から 80a に拡大。</p>	
<p>【参考写真】</p> 	

6. 東日本大震災の被災者救助・予防（復興）

事例 6	特定非営利活動法人 みやぎ子ども養育支援の会（宮城県石巻市）
事業名	被災地（石巻市とその周辺地域）の子育てを支援する事業
事業種別	東日本大震災の被災者救助・予防（復興）
配分額	350 万円
<p>【事業内容】</p> <p>①被災地での生活困窮・離婚・病気などの理由で子どもを育てられなくなった家庭の児童を受け入れて養育しているファミリーホーム「子どもの家きむら」を支援する事業。</p> <p>②地域に出て、子ども同士、子どもと大人・高齢者、子育て中のお母さん方が交流し、相談し合える機会を提供する事業。</p> <p>＜ファミリーホーム支援事業＞</p> <p>①新規スタッフの採用 →現在、高校3年生3名（特別支援学校1名）、高校1年生1名、中学校3年生1名、小学校3年生1名の計6名（定員6名満杯）を受け入れ。 受け入れ当初不登校だった高校生が無事に卒業し、保育士を目指して短期大学に進学、低学力だった中学生も勉学に励むようになり、無事高校に進学、不登校だった女兒も新学期から通学を開始するなどの成果。</p> <p>②ホームキッチン（食堂兼リビング）の拡張 →改修前と比べると約1.5倍程度に拡がり、子どもたちの誕生日会やクリスマス会などのホームパーティーの開催が可能となった。</p> <p>＜地域の子育て支援＞</p> <p>①お母さん方の気分転換及び情報交換を図るため「にこにこママサロン」を年1回開催、「コミュニティーサロン」を年7回実施。</p> <p>②子どもたちが集まり、季節の伝統行事等に取り組む「にこにこクラブ」を年6回開催。親・子どもだけでなく、地域の高齢者も参加してもらい、地域の交流を深めることが出来た。</p>	
<p>【参考写真】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	